

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障がい者総合支援法に基づく就労継続支援A型事業
事業主体 (連絡先)	株式会社フジすまいるファーム飯山 (飯山市大字照岡 485-イ)
事業区分	(2)保健・医療・福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,081,204 円 (うち支援金: 2,687,000 円)

事業内容

長野県及び飯山市が推進している「農・福連携事業」の一環として、飯山市の基幹産業である「農業」の振興と障がい者が自立した生活を送れることを目的とし、障がい者総合支援法に基づく就労継続支援A型事業所「フジすまいるファーム飯山」を設立した。閉校後の校舎の利用、遊休農地の活用、信州伝統野菜「坂井芋」の安定生産など、地域の活性化と障がい者の職域と雇用の拡大に取り組んでいる。以下支援金で整備したもの

- ・コンテナ (社名入り400ケース)
- ・23馬力トラクターリース
- ・遊休農地17a開墾
- ・愛媛研修参加



【なべくら高原大根出荷作業】

【目標・ねらい】

- ① 障がい者の新規雇用と定着
- ② 遊休農地の有効活用
- ③ 伝統野菜の継承
- ④ 地域の活性化

※自己評価【C】

【理由】期待した収益が得られなかった。農業技術の向上や農閑期の仕事、施設外就労先の確立が課題

事業効果

- 障がい者今年度新規4名雇用達成、1名一般就労へ、3月現在計12名定着中
- なべくら高原では遊休農地を含む2.6haを活用し生産活動を行った。冬場加工用大根は雪室へ保存した。
- 千曲川河川敷坂井地区では信州伝統野菜「坂井芋」生産・JA、道の駅千曲川へ出荷
- 地域の活性化として一周年感謝のつどい、地元住民や行政機関で愛媛みかんを販売、道祖神祭やフラワーロード整備、草取りなど地域活動へ協力。かまくら祭へすまいる商店出店、施設外就労として外様地区レストランかまくら村、地元農家、きのこ園へ。

今後の取り組み

雇用の安定、一般就労への道すじの整備。2か所の農地の遊休農地の開墾、土地改良等を行う。長野県農業普及改良センターや飯山市農林課、地元農家、JAと協力体制を整え、安定した農業経営化をめざす。雪を有効活用した事業、加工場を有効活用する事業の組み立てを行う。「地域に貢献」と「農福連携事業」を両立したモデル事業をめざす。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある